



日新地区社会福祉協議会



公民館祭りに作品展示

日新地区自治会型デイホームとして、平成30年10月に開催された公民館祭りの展示部門に、初めて参加させていただきました。

久留米緋のハギシを使ったくるみボタンのブローチ、スクラッチアート、ナフキンデコパージュによるミニトートバッグ、ミニ色紙アートと各会場全て違うものを作って展示しました。

また、畳1畳分ほどもある大きさのパネルも使用させていただいたので、こちらにも利用者の皆さんのメッセージや写真を展示して、地域の皆さんへ日頃のデイホームの活動を広く告知することができました。

これを機に、たくさんの方に日新地区のデイホームに足を運んでいただけたらと思っています。

日新地区専任職員 中嶋 安希子

上文殊地区社会福祉協議会 ほのぼのサロン



「キヤー」「わー」「びっくりしたなもっ」
牛乳パックでびっくり箱づくり

上文殊地区自治会型デイホームは、「ほのぼのサロン」の愛称で親しまれています。その名の通り、ほのぼのとした温かな雰囲気の日で、楽しみながら参加されています。

今回は、牛乳パックと輪ゴムを使って、「びっくり箱」を作りました。皆さんには予告なしで材料を分けておき、1つだけ完成品を入れておきました。「開けて中身をだして下さい。」と声をかけると…。その瞬間の驚きの声や顔は、まるで子どもに戻ったかのように大はしゃぎでした。

完成すると何回も開けては「わー！」と大盛り上がりで、家に帰ってからは誰に「はい、プレゼント」と出したのでしょうか？中にはあめちゃんや、感謝の手紙も入っているといいですね。

上文殊地区専任職員 渡辺 直美